

## 会 議 録

会 議 名	平成29年度第2回野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	議題 1 委員の任期満了について 2 第5期野田市障がい福祉計画（素案）について 3 専門部会からの報告等について
日 時	平成30年2月21日（水） 午後2時30分から午後3時55分まで
場 所	市役所 8階 大会議室
出 席 委 員	会 長 加藤 満子 委 員 内藤 鉄也 委 員 大塚 盛也 委 員 岡田 吉郎 委 員 清本 健二郎 委 員 柄澤 隆一 委 員 栗原 利夫 委 員 小林 公平 委 員 金剛寺 守 委 員 逆井 一 委 員 知久 たい子 委 員 中村 義光 委 員 齊藤 登美生 委 員 柳下 信雄 委 員 清水 明美 委 員 富山 勝之 委 員 宇田川 克巳 委 員 中代 英夫 委 員 戸邊 卓也 委 員 渡邊 伸幸
欠 席 委 員	副会長 鈴木 美由紀 委 員 上坂 悟 委 員 堀口 美千代 委 員 内村 浩二郎 委 員 吉田 利恵 委 員 堀出 知弘 委 員 山下 敏也 委 員 小林 利行 委 員 矢部 雅彦
事 務 局 等	富山 克彦（保健福祉部長） 小林 智彦（障がい者支援課長） 蛸原 芳幸（障がい者支援課長補佐） 齋藤 剛（障がい者支援課相談支援係長） 伊原 誠宏（障がい者支援課障がい者福祉係長） 佐田 徹（障がい者支援課相談支援係主任主事） 上野 慎司（障がい者支援課相談支援係主事） 宇佐見 千紘（障がい者支援課相談支援係主事）
傍 聴 者	無し
議 事	平成29年度第2回自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会の会議結果（概要）は、次のとおりである。

障がい者支援課 相談支援係長	平成30年2月21日午後2時30分開会。29人の委員のうち20人が出席し、野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会設置要綱第6条第2項により本協議会が成立していることを報告する。また、会議録作成のため録音機を使用することの了解を得た。
加藤会長	このほか、10月16日付けの市職員人事異動により介護保険課長小倉委員から山下委員へ委嘱替えを行ったとともに、野田警察署においても2月6日付けで生活安全課長の人事異動により、後任者の推薦を依頼、委嘱準備を進めていることを報告
加藤会長	<挨拶>  議案1 委員の任期満了について
加藤会長	議案1について、事務局に説明を求める。
障がい者支援課 相談支援係長	<委員の任期満了について説明>
加藤会長	何か意見等はあるか。なければ、事務局の説明とおり、承認してよろしいか。  <委員多数より異議無しの声有り> (事務局案について承認することで決定した。)
加藤会長	議案2 第5期野田市障がい福祉計画(素案)について  議案2について、事務局に説明を求める。
障がい者支援課長	<第5期野田市障がい福祉計画(素案)について説明>
加藤会長	事務局説明について、意見や質問はあるか。
知久委員	12ページ、地域生活支援拠点の設置に向けた具体的方策は。また、特別支援学校を卒業した者の生活の場について把握はしているのか。
障がい者支援課長	昨年開所した障がい者にも対応した特別養護老人ホームと併せ、今後グループホームの建設を予定している、市としては重要課題として認識しており慎重に進めたい。 現状、把握はしていない。今後は特別支援学校卒業者の日中活動の場の確保が課題と認識している。
清本委員	本計画については、数値目標は国の基本指針に基づき策定さ

	<p>れていることと思うが、障がい者の生活の場を確実に増やすことが必要と思う。</p>
加藤会長	<p>計画書 3 1 ページ、居宅訪問型の児童発達支援の見通しは。</p>
障がい者支援課長	<p>現在、このサービスについて事業所からの問合せはない。しかし、今後重要なサービスになると考えている。</p>
小林委員	<p>今後、利用者とサービスをどう結び付けるかが課題だと思う。</p>
加藤会長	<p>計画書 3 1 ページ、医療的ケア児に対する支援を調整するコーディネーターの配置の具体的な方法は。</p>
障がい者支援課長	<p>地域生活支援拠点の中で、基幹相談支援センターの機能を活かすとともに、市内の社会資源の有機的な活用を含めた検討したい。</p>
加藤会長	<p>地域生活支援拠点の整備を含め、計画に即した実現を望む。ほかに意見等はあるか。なければ、事務局の説明のとおり、承認してよろしいか。</p> <p>&lt; 委員多数より異議無しの声有り &gt; ( 第 5 期野田市障がい福祉計画 ( 素案 ) を承認することで決定した。 )</p>
	<p>議案 3 専門部会からの報告等について</p>
加藤会長	<p>議案 3 について、事務局に説明を求める。</p>
障がい者支援課 相談支援係長	<p>&lt; 専門部会からの報告等について説明 &gt;</p>
小林部会長	<p>子ども部会長より報告 開催日、主な議題の報告、今年度は現状の相談窓口が多数あることによる分かりにくい状態を踏まえ、次年度は福祉サービス等の相談窓口の整理を実施し、保護者の利便性を図りたい。その他、医療的ケア児の協議の場について、関係各課と連携、調整を実施し体制づくりを図っていく。</p>
栗原部会長	<p>権利擁護部会長より報告 開催日、主な議題の報告、今年度の取組として、市報のだへ「みんなで支えるバリアフリー」を連載、また障害者差別解消法啓発パンフレットの作製と説明会を実施したが関心が低く参加者が全く集まらなかった。</p>

<p>柄澤部会長</p>	<p>このため、次年度はより効果的な障害者差別解消法の周知活動を検討していきたい。</p> <p>就労支援部会長より報告 開催日、主な議題の報告、今年度は様々な法改正を中心に情報の共有を行った。次年度の取組検討事項として、支援員の後継者育成問題や福祉だけでなく地域と密に連携し、雇用に関する協議をしていきたい。</p>
<p>障がい者支援課 宇佐見主事</p>	<p>相談支援部会長の堀口委員欠席のため、事務局担当より報告 開催日、主な議題の報告、今年度は県が委託した事業所により開催してきた「こころの作品展」を相談支援部会が主催し1月末に開催した。次年度の取組事項としては、相談支援業務の人員不足に対応するため、他市の状況を参考に野田市の相談体制について検討していく。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>各部会方の報告等について質問や意見等はあるか。</p> <p>&lt; 委員多数より特に無しの声有り &gt;</p> <p>( 各部会長からの報告に対し各委員とも了解した。 )</p> <p>なければ以上をもって各部会からの報告を終了とする。 その他として、各委員から現在の課題や意見をお願いしたい。</p>
<p>柳下委員</p>	<p>4月より法定雇用率の改定が予定され、また精神の障がいを持った方をカウントに含めることができることとなった。 障がい者の雇用には雇用先の理解が必要なため、説明会等の開催により雇用の場を広げていきたい。</p>
<p>宇田川委員</p>	<p>事業主に雇用促進奨励金の周知を更に図り、障がい者雇用につなげたい。</p>
<p>戸邊委員</p>	<p>障害者差別解消法については、人権部門でも講演会などを通じ周知を図っているところ。</p>
<p>清水委員</p>	<p>保健所では小児慢性特定疾病の医療費助成を行っている。今後、地域での生活の中でどのように支援に繋げるかが課題</p>
<p>岡田委員</p>	<p>就労継続支援が特に計画書の見込みと実績の乖離が大きい。今後の計画で埋めることができるのか、また課題等はないのか。</p>
<p>障がい者支援課長</p>	<p>就労継続支援の課題として、特にA型事業所は事業所の請け負った仕事から利用者の最低賃金を支払うような制度だが、実際は給付費等から賃金を支出するなど適正な経営が難しい。</p>

<p>柄澤委員</p>	<p>障がい者を取り巻く状況は年々変化している。就労関係の事業所については、大阪市では営利目的の事業所の参入も問題化している。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>グループホームのスプリンクラー設置については猶予期間が設けられているので、順次点検を実施し対応をお願いしている。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>その他、意見や質問はあるか。</p> <p>&lt;委員多数より特に無しの声有り&gt;</p> <p>特に意見等がないため、午後3時55分、閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>